

最もも
高たか高い

工こう作さくの
材ざい料りょう

昨さく年ねん

試ためして
みる

毒どくま
むし

ま
ほうの
粉こな

鏡かがみを
見みる

旗はたが
なびく

大おお泣なき
する

全ぜん然ぜん
打うて
ない

桜さくらが
散ちる

な
べの
底そこ

本ほんの
帯おび

続つづき
は
明あし日た

孫まごの
顔かお

日にっ光こう
浴よく

三さん億おく
円えん

外がい交こう
官かん

胃いが
もた
れる

完かん成せい
す
る